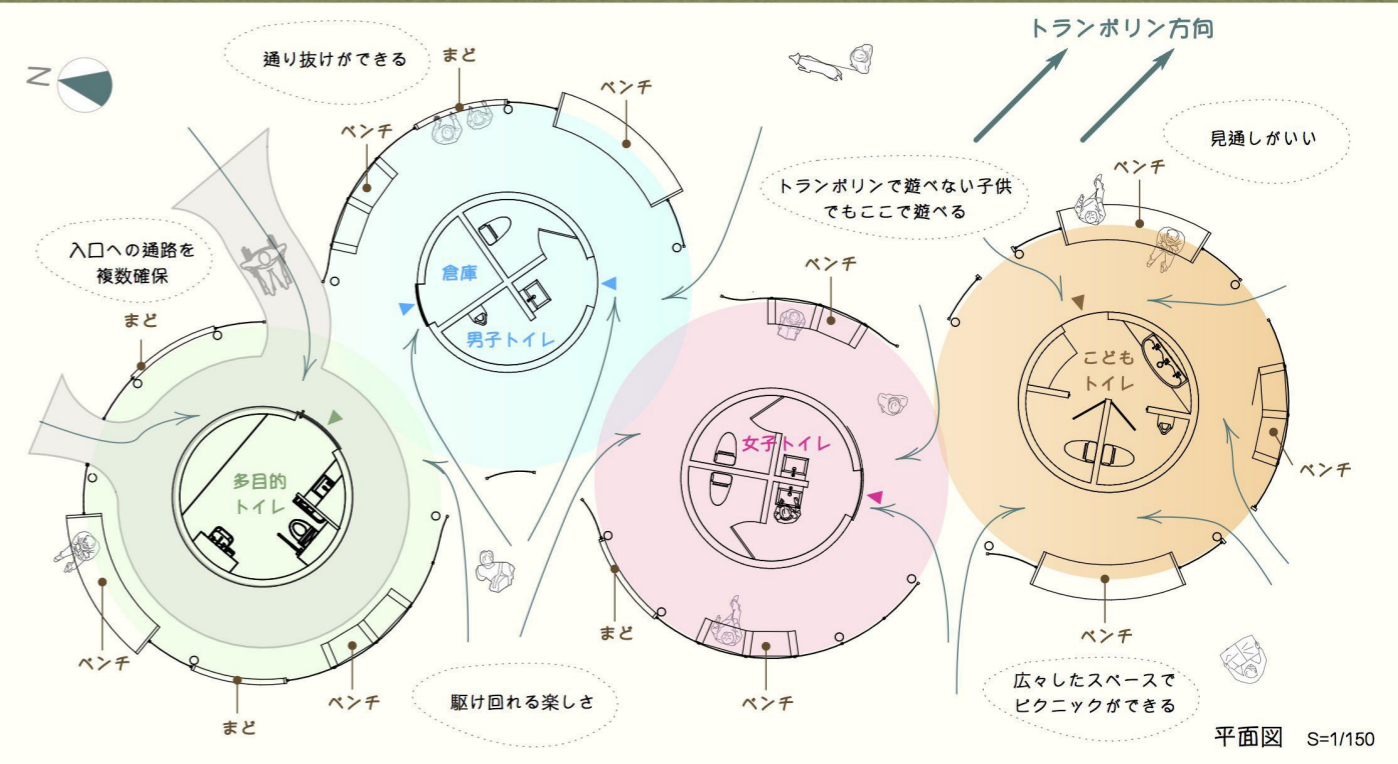
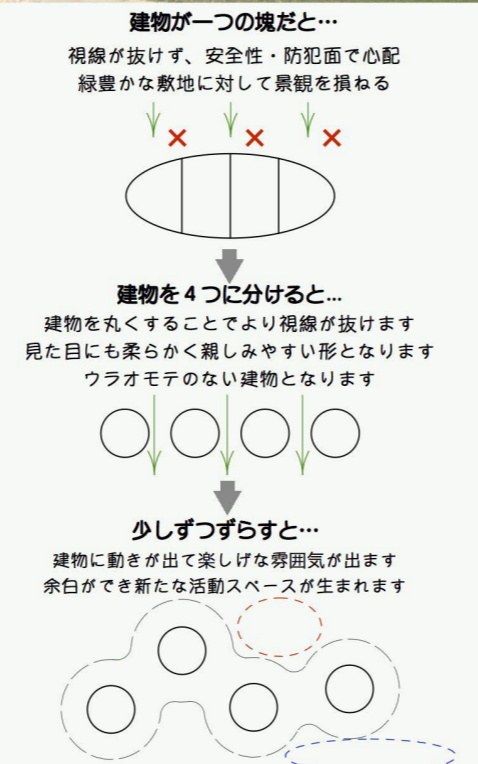
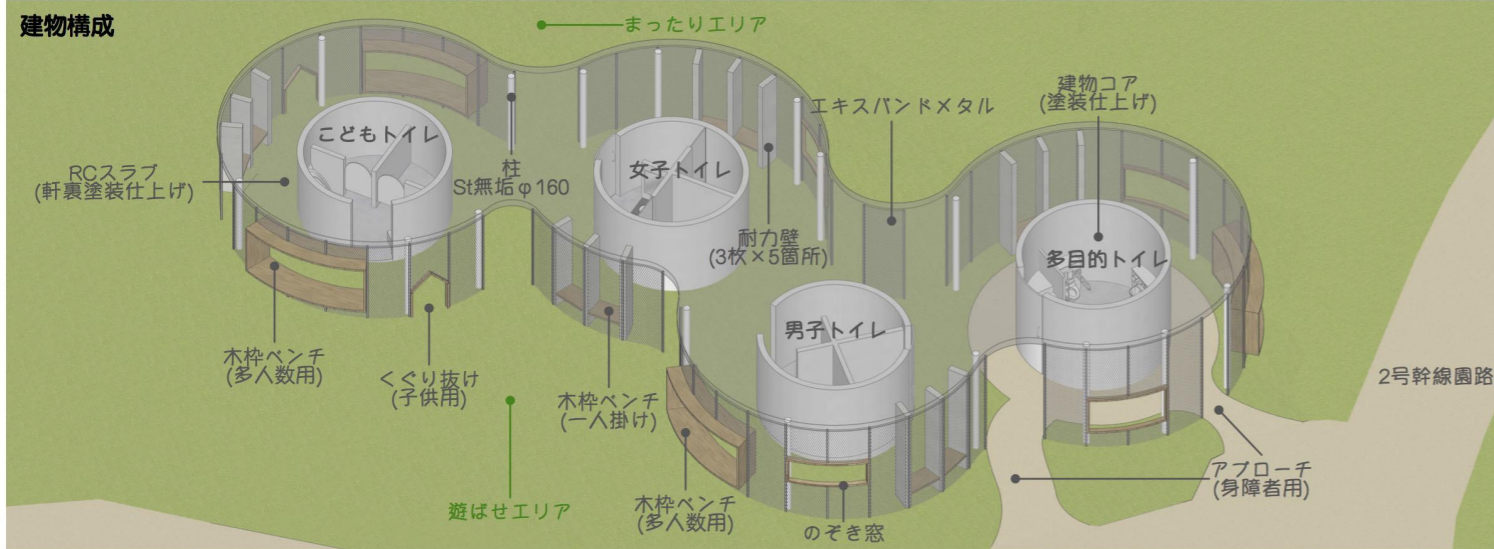


『おおやね といれ』

トランポリン利用者や、ウォーキング利用者など子供から大人まで楽しみながら安心して利用できるトイレを計画しました。建物の外周部にはエキスパンドメタルを張り巡らせています。外周部には様々な大きさの開口を設けてベンチや窓・子供専用のくぐり抜け通路の機能を持たせます。遠くから見るとランダムな配置で浮いているようにも見える木製枠が不思議な光景をつくり遊具の延長のように利用できる建物を提案します。





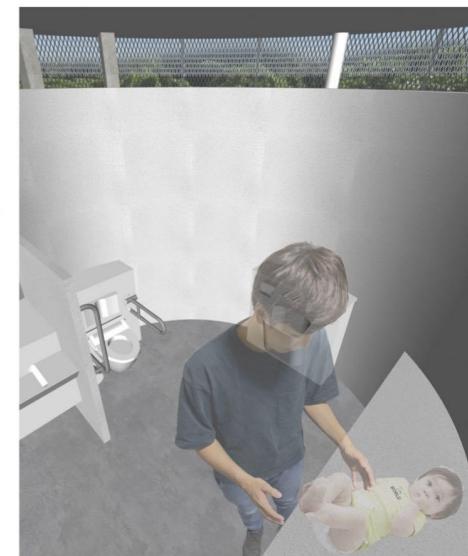
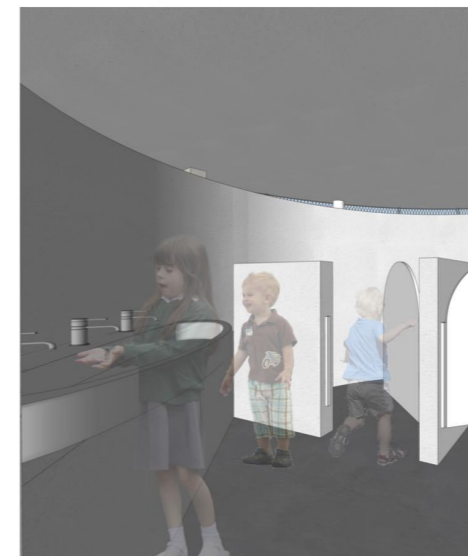
意匠計画

外周部にエキスバンドメタルとランダムな形状の木枠を採用することで建物全体が遊具のような印象となります。

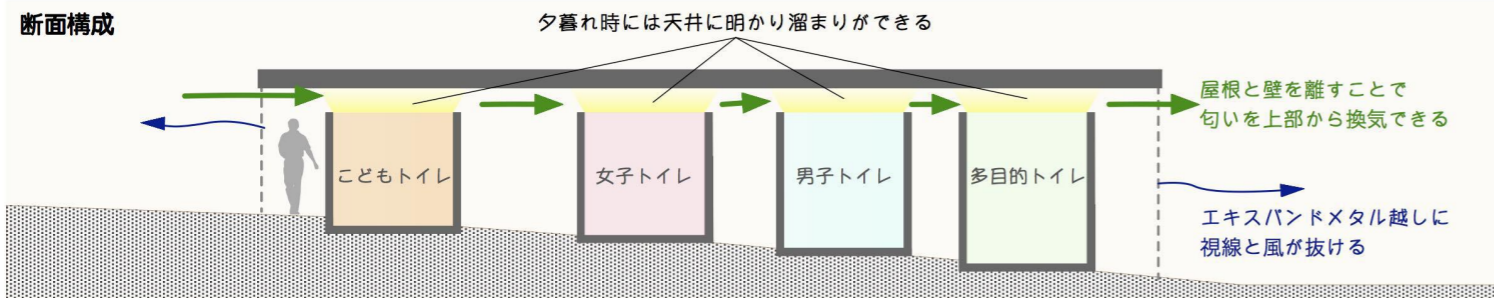
遊ばせエリアはトランポリン側に配置し、近くにベンチを計画しました。ベンチに座りながら、遊ばせエリアとトランポリンで遊ぶ子供たちの両方を見守ることが出来ます。

鉄骨フレームを入れた木枠は敷地の高低差と、用途に合わせて形状や高さに変化をつけています。木枠には、小さな子供のくぐり抜け用、ベンチ、のぞき窓といった機能をもたせました。

屋根の下も芝生敷きとすることで視覚的にも周囲の環境と一体となるように計画しました。多目的トイレのアプローチのみ舗装を行うことで誰でも利用しやすくなるように計画しました。



断面構成



構造計画

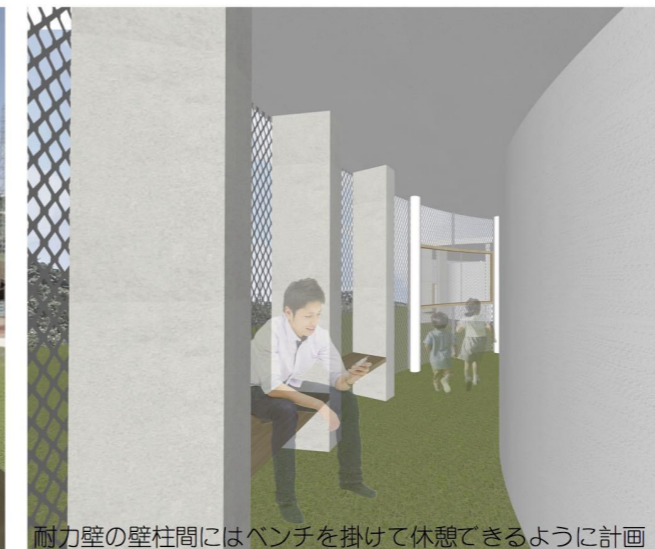
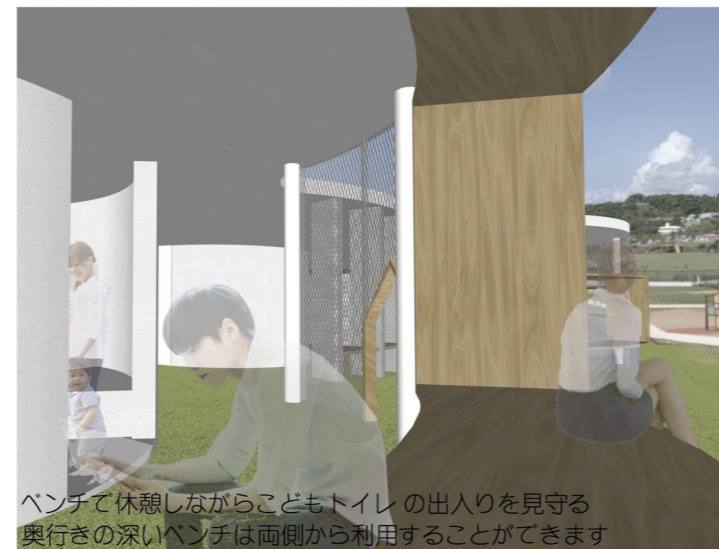
160φのSt無垢材の柱を全体的にバランスよく配置してRCスラブの大屋根を支えます。外周部に設けた3枚×5箇所のRC壁柱により、水平力を負担させる計画としました。これらにより、トイレの壁を自立壁とする事ができ、屋根の構造的な負担を考慮しなくて良いものとなりました。また壁と屋根が離れることにより天井に綺麗な光溜まりが映し出されます。

こどもトイレ

トランポリンに近く天井高さが最も低くなる部分にこどもトイレを配置しました。こどもトイレは要綱にはありませんが、公園の利用者数を考慮し、また小さな子供達の自発的な施設利用を促すために必要であると考え、計画しました。こどもトイレの仕切り壁は防犯・安全性を考慮した高さに設定します。

多目的トイレ

2号幹線園路とトランポリンのどちらからでも利用しやすいようにアプローチを2箇所設けました。歩行者と車椅子利用者がすれ違うことができる通路幅を確保しています。内部は車椅子利用者でも利用しやすい広さを確保し、乳幼児のオムツ替えとしても利用できるカウンターを備え付けました。



仕上げ

屋根スラブ・トイレ壁は耐候性の高い塗材とし、メンテナンス性に配慮します。木枠も耐候性に優れ、誰が触れても安全な自然塗料を用います。多目的トイレ周辺の床仕上げ材は遊具周辺と同じゴムチップ舗装とし、意匠の統一と安全性に配慮します。

概要

用途: トイレ
建築・延べ床面積 : 168m²
構造: 鉄骨造+鉄筋コンクリート造
最高高さ: 3.5m